

脱毛や薄毛の原因は、頭皮バリアの破壊

脱毛や薄毛の原因は、頭皮バリアの破壊による、毛包幹細胞ダメージによるヘアサイクルの乱れです。ヘアサイクルに毛根および血行促進も重要な役割を果たしますが、ヘアサイクルに最も影響を与える重要な要因が、バルジ領域の毛包幹細胞です。

そして、バルジ領域の毛包幹細胞を守るのが頭皮バリアです。頭皮バリアが正常に機能し、バルジ領域の健康状態が良ければ、毛包幹細胞が活性化し、ヘアサイクルが正常に機能し、健康で強い髪が維持されます。一方、シャンプーのし過ぎで頭皮バリアが壊れ、毛包幹細胞がダメージを受けると、ヘアサイクルが乱れ、脱毛や薄毛の原因となります。これは科学的事実です。

こうした知識や科学的事実を基に、森海混は開発されました。

バルジ領域の毛包幹細胞は、確かにヘアサイクルにおいて非常に重要な役割を果たします。毛包幹細胞は、髪の成長、休止、脱毛というヘアサイクルの各段階を調節する中心的な存在です。この領域に存在する幹細胞が活性化することで、新しい髪が生成されるプロセスが開始されます。

●バルジ領域の毛包幹細胞と毛根および血行促進の関係:

1. 毛根と血行促進: 毛根は髪の成長の基盤となる部分で、血行促進が毛根に必要な栄養と酸素を供給し、健康な髪の成長をサポートします。
2. 毛包幹細胞: 毛包幹細胞が活性化することで、毛根に新しい毛母細胞が供給され、髪の成長が促進されます。

●バルジ領域の毛包幹細胞とヘアサイクルの関係:

1. 成長期(アナゲン期): 毛包幹細胞が活性化し、新しい毛母細胞が生成され、髪が成長します。
2. 退行期(カタゲン期): 成長が停止し、毛包が収縮していきます。
3. 休止期(テルゲン期): 髪の成長が完全に止まり、古い髪が抜け落ちます。この時期が終わると、再び成長期に戻ります。